

新年のご挨拶

東京電力パワーグリッド株式会社
小田原支社長 相内 ゆか

新年明けましておめでとうございます。

小田原電設業協同組合の皆さまにおかれましては、2019年の新春を清々しい気持ちでお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また皆さまには、日頃より電力事業の運営に多大なるご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

今年の年末年始は、比較的長期間のお休みが取れたと思いますが、皆さまいかがお過ごしになられたでしょうか。

昨年は、2018年に続き、自然災害が猛威を奮う年となりました。被害に遭われた方々へ心よりお見舞い申し上げます。

9月の台風15号、10月の台風19号とも非常に大きな勢力を保ったまま関東地方を直撃し、強風による鉄塔倒壊や、今までに経験がないほどの広範囲の倒木など、甚大な被害が発生しました。さらには10月末の集中豪雨でも関東地方の河川が氾濫し、広い範囲で水害が発生したことも記憶に残ることと思います。

当社管内では、台風15号で93万軒、19号で43万軒の停電が発生しましたが、これらの復旧にあたっては、他電力や自衛隊を始め大変多くの方々にご支援を頂き、復旧を進めることが出来ました。

小田原エリアで見ますと、台風19号の被害が大きく、箱根町でも降り始めからの総雨量が1000mmを超え、箱根登山鉄道の線路が流され、倒木や土砂崩れにより温泉施設なども甚大な被害を受け、紅葉シーズン真っ盛りの観光地として大打撃を受けました。当社電力設備も例外ではなく、電力設備も相当な被害を受け、復旧の長期化により多くの方にご迷惑とご不便をお掛けしましたこと、お詫び申し上げます。

昨今の情勢を鑑みますと、このような異常気象は今後も発生しうることであり、これに対する備えが必要であると考えております。今回の経験と反省をムダにせず、より迅速・的確に対応するための検討を継続しているところですが、今後は電気工事を営むみなさまとの関係など、多面的に検討をして参りますので、引き続きご理解とご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

今年2020年は「東京オリンピック・パラリンピック」が開催され、県内でも3会場で競技が行われる予定です。当社は大会が無事開催されるために、昨年より特別態勢での事前準備を進めており、また大会期間中も電気を安全かつ安定してお届けするため万全の態勢を取って参ります。昨年のラグビーワールドカップのように、盛大に開催されることを願いながら、電力の安定供給に尽力して参ります。

結びになりますが、新年を迎え、貴組合の益々のご発展と、組合員の皆さまの一層のご活躍とご健勝を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。